



優郷の学び舎

松丘

学校だより N. 3
令和 7 年 5 月 30 日
世田谷区立松丘小学校
校長 臼井 潤一
03(3429)4278



題字: 寺子屋 COSMOS でご協力いただいている、書道家 川口青澄先生にお書きいただきました。

世田谷区立松丘小学校で検索
携帯サイトはQRコードから

運動会を終えて

・・・努力する姿ほど美しいものはありません・・・

校長 臼井 潤一

今年度も全校の子どもたちが一堂に会し、「絆を胸にへひかる松小・全力発揮！～」のスローガンのもと、笑顔とエネルギーに満ちた運動会を開催することができました。教師や友達と共に汗を流し、心を一つにして取り組んできた子どもたち。その積み重ねが、当日の晴れやかな姿に表れていたように感じます。

表現種目では、仲間と呼吸を合わせて真剣に踊る子どもたちの眼差しに胸を打たれました。中・高学年のリレー、団体競技、短距離走など、どの場面でも、一人ひとりがもてる力を精一杯出し切る姿がありました。朝練習に励んできた金管バンドの演奏も印象的でした。運動会のテーマソング「ゴーゴーゴー」や校歌を堂々と奏でる姿は、まさに誇りそのものでした。応援団を中心に力いっぱいの声を届けた応援も、会場を大いに盛り上げてくれました。そして、松丘小学校の伝統「ポンファイヤーダンス」。学年を越えて一つになり、心を重ねて踊る姿は、まさに感動的でした。6年生の係活動も非常に献身的で、子どもたちと職員が一緒に創り上げた運動会の充実は、何よりの喜びです。

運動会への取組を通して、学年や学級の絆は一層深まりました。私は、真剣に練習に取り組むその姿、全力を尽くそうとする姿こそが最も尊いと感じています。子どもたちは、その努力の中で自らの可能性を広げています。私たち教職員は、そんな一人ひとりに寄り添い、その成長を丁寧に見守ってきました。

松丘小学校の運動会は、子どもたち一人ひとりの目標に応じた課題を設定し、達成に向けた努力を大切にしています。その過程で、「我慢する心」「協力する心」「思いやる心」そして「心を一つにした達成感」など、多くの大切な学びを経験したことと思います。今後も、学校行事という日本の教育の大切な文化を守りながら、日々の学習の充実に力を注いでまいります。

結びに、今年度の運動会に際して、準備や運営、片付けなど多方面にわたってご協力いただいた PTA 会長をはじめ、役員の皆様、受付・パトロール係の皆様、松パパクラブ、松丘 FC の皆様など、本当に多くの方々にご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

いじめ防止・ふれあい月間について

生活指導主任

6月は「ふれあい月間」です。東京都教育委員会が全ての子どもたちの健全育成を目的として、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校の早期発見・早期対応、未然防止等の強化月間として設定しています。

本校では、「松丘いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体で「いじめゼロ」を目指しています。(4月保護者会にて説明し、ホームページにも掲載しています)

いじめは誰にでも起こりうるもの。なぜなら、相手が嫌だと感じたら「いじめ」となることが「いじめ防止対策推進法」で定められているからです。しかし、法律で制度を整えていれば「いじめゼロ」になるわけではありません。

頭では悪いこと理解しつつも、相手を嘲笑したり、周囲の同調圧力に負けて正しい行動ができなかったりします。また、自分の行動に責任をもたず、相手を責めて自分を守る姿が見受けられるなど、その関わりの改善に困難を要する場合もあります。

「いじめゼロ」のためには、「自分とは違った考え方や受け取り方があること」「相手と自分とは事情が異なること」などを受け入れ、自他共に大事にできる力が大切です。その力は、単にテストでよい点をとることだけではない幅広い経験や様々な他者の考えに触れることから得られます。このように多面的に考え方行動できる力は、社会性を育てることに大きくつながります。

学校では、さまざまな場を用いていじめに関わる指導をしておりますが、「いじめゼロ」のためにはご家庭や地域の方々の協力が不可欠です。ぜひ、ご家庭でいじめについて話し合っていただき、互いに連携をとりながら、一人ひとりを大切にする温かい心を共に育てていきます。